



月刊
まち・コミ
— 特別号 —

もくじ

- p1 ごあいさつ
- p2~p3 運営体制・事務局体制
まち・コミ年表
- p4~p7 プロジェクト紹介
「今後も行動するまち・コミであれ」
- p8 賛助会員

2001年度

まち・コミュニケーション活動予定発表！

本誌でご紹介するメンバーと活動内容で、今年一年やっていきます。運営委員や支援委員を始め、まち・コミュニケーションに関わって頂いている方々のお力をお借りしながら、若者が励み、学び、両者が楽しく、有意義な活動にしたいと思ひます。多くの方に参加していただき、学生・大人・まちの老人と切磋琢磨し、まち・コミュニケーションスタッフ一同学ばせていただきたいと思います。

阪神・淡路大震災から7年が経ちますが、御蔵地区の復興は半ば、このままでは多くの空き地が残り、まちに人々が戻ることは望みません。震災前から高齢化が進み、まちの活気がなくなることには心配されたのですが、震災で大きく露呈しました。多くのことが御蔵地区だけで解決できるような問題ではなくなってきましたし、同時に御蔵地区だけの問題でもありません。

まち・コミュニケーションは去年より東京・神奈川事務所をおき、活動しています。問題の種類はいろいろですがそれを解決する方法は、最後には自分で努力すること。それにつきると思ひます。私たちまち・コミュニケーションは、そのお手伝いのできる範囲でさせていただきます。日本全国、そして世界の様々な方々と経験や思いを共有しながら、一回り大きな視点を持ち、その上で自分の関係するまちのビジョンを模索し、実際に次のステップへ進めていきます。

スタッフ自ら取り組まなくてはならない事ばかりです。出来るところから取り組みますので今後ともよろしくお願ひします。

まち・コミュニケーション代表
宮定章



運営体制

顧問

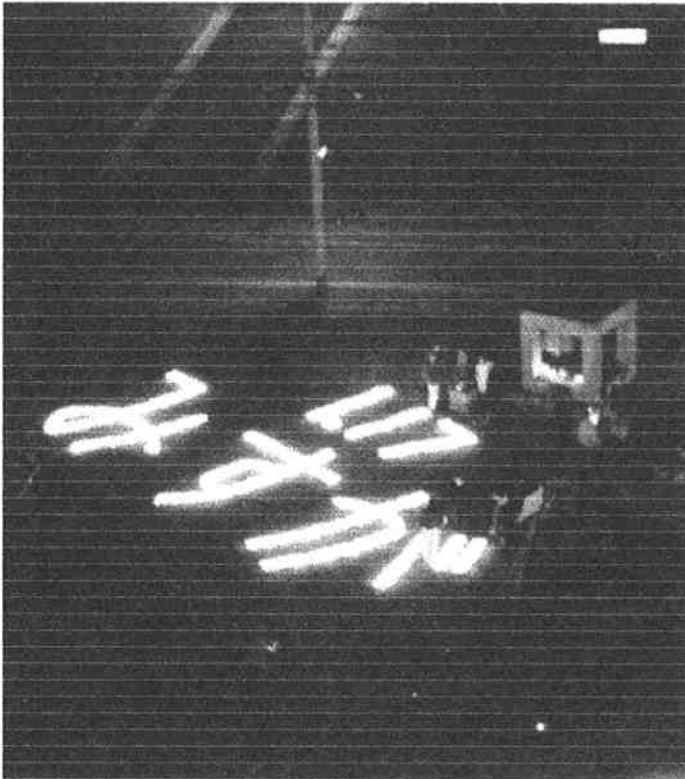
遠藤勝裕 (日本証券代行(株))
田中保三 (株)兵庫商会

運営委員

井上赫郎 (首都圏総合計画研究所)
今田忠 (市民社会研究所)
上田諭信 (プラザ5 運営委員)
浦野正樹 (早稲田大学文学部)
大矢根淳 (専修大学文学部)
高森一徳 (日本出版企画(株))
田中貢 (都市基盤整備公団関西支社)
野崎隆一 (株)遊空間工房
宮定章 (まち・コミュニケーション)

支援委員

小島孜 (近畿大学理工学部)
武田則明 (株)武田設計
濱田基三郎 (首都圏総合計画研究所)
宮西悠司 (神戸・地域問題研究所)
森反章夫 (東京経済大学現代法学部)



(2001年3月31日現在/50音順/敬称略)

3 / 25	1 / 17	1 / 14	2001年	11 / 2	8 / 26	8 / 8	4 / 2	1 / 17	1 / 16	1 / 15	2000年	8 / 21	8 / 3	5 / 7	3 / 19	1 / 17	1 / 15	1999年	10 / 18	8 / 21	8 / 11	4 / 17	1 / 12	1998年	12 / 19	10 / 16	8 / 22	8 / 6	
第8回御蔵学校	「I.I.みすが」ろうそく点灯	7回忌御菅地区合同慰霊祭		まちづくり人講座開始	第7回御蔵学校	河内音頭盆踊り大会	プラザ5開所・オープニングイベント	6回忌御菅地区合同慰霊祭	共同化住宅『みくら5』竣工式	第6回御蔵学校		第5回御蔵学校	河内音頭盆踊り大会	遺族聞き取り調査に協力	第4回御蔵学校	5回忌御菅地区合同慰霊祭	共同化住宅出発式・着工		栗ご飯とチャンバラ映画の集い	第3回御蔵学校	河内音頭盆踊り大会	仮設住宅撤去開始	4回忌御菅地区合同慰霊祭	仮換地杭打ち式		第2回御蔵学校	消防署の記録誌に対し抗議	第1回御蔵学校	河内音頭盆踊り大会

事務局体制

代表

宮定章

御蔵スタッフ

植田達郎

加藤洋一

戸田真由美

西山菜穂子

藤川幸宏

横田知子

吉田信昭

東京スタッフ

小野美織

木村明子(危機管理研究所)

金原雅彦

斉野百合子

下村恭広(危機管理研究所)

菅磨志保(危機管理研究所)

三澤一孔



まち・コミ年表

1995年

1/17 午前5時46分51秒8

兵庫県南部地震発生

御蔵通5・6丁目の焼失面積

22・397平方メートル

2/11 御蔵にプレハブ住宅到着

3/19 これからの長田を考える会

3/17 都市計画決定

4/8 花祭り開催

6/5 御蔵通5・6丁目まちづくり協議会設立

10/24 まち・コミスタッフ

多くのボランティア団体は避難所から
仮設住宅に視点を交える

12/17 御蔵通5丁目に集会所オープン

慰霊祭の準備活動

1996年

1/17 御菅地区合同慰霊祭

(ふぐ5000食が山口から差し入れ)

4/1 『まち・コミユニケーション』設立

共同化住宅のヒアリング開始

7/ 『御蔵5・6・7丁目わが街の会』設立

8/10 『みすが夏祭り開催

9/28 まちづくり協議会連絡会出席

12/14 まちづくり勉強会

1997年

1/15 3回忌御菅地区合同慰霊祭

6/14 共同化、敷地位置決定

6/17 御菅地区、地区計画が住民に可決される

7/31 月刊まち・コミ発行開始

プロジェクト紹介

住宅再建支援

御蔵地区の区画整理は徐々に進行していますが、同地区の住宅再建は、まだ半分が完了した程度。被災後、御蔵からほかの地区に移ってもどってこられない方が大勢おられます。居住者それぞれの震災前や震災後の状況が関係しています。

まち・コミでは、これらの方々に対し「なぜ再建できないのか」「なぜ戻ってこられないのか」を始めとしたヒアリング調査をまちづくり協議会、地元コンサルタントと協力して行い、その結果から「どうすれば御蔵に住民が戻ってこれるのか」「まち・コミは御蔵で何ができるのか」を検討します。

■データ■

震災前の御蔵世帯数 約340世帯

そのうち御蔵に戻ってきた世帯
約3分の1世帯

現在の御蔵世帯数 約180世帯
(公営住宅建設のため、他地域から来られた方も含みます。)

※2001年4月1日現在

Project Member

加藤・植田・藤川・宮定

実践的GISの構築

まち・コミの構築するGIS (Geographic Information System: 地理情報システム)は、コンピュータの設計ソフト(CAD)を使って、地図上にあらゆる地域情報をもりこむもので、範囲は御管(御蔵・菅原)地区。地域住民、研究者がともに活用できるものを目指し、これからのまちづくりに役立てます。

地域情報は、住民の方とともに、まち歩きやワークショップを行うことによって集めます。完成した地図は、インターネットによって一般公開いたします。

■GISからわかる情報は？■

- ・歩行の困難な方が、通行の障害となるポイント。
 - ・バリアフリーを考慮した店や地域住民おすすめの店。
 - ・ヘルパーや保育士など、まちづくりに必要な人材。
 - ・昔の町並みや伝統行事。
 - ・住民が考える御管地区の特徴やニーズ。
- そして建築、都市計画、福祉などの専門家の意見。

Project Member

加藤・植田・横田・西山



地域組織活動支援

まち・コミは、「御蔵通5・6丁目町づくり協議会」の支援に始まり、これまで御蔵地区合同慰霊法要を6回行いました。また、「わが街の会」主催の夏祭り、もちつきなどを通じて、地域内の活動をサポートしてきました。

まだまだ空地が目立つ御蔵5・6丁目ですが、震災前からの住民も、新しく御蔵に引越してきた住民も、皆が一緒に住みよい街をつくっていくように、これからも地域の活性化、住民活動の活発化のお手伝いをして、ソフト面でのまちづくりを支援していきます。御蔵で自治会が立ち上がる話があり、まち・コミのスタッフの「若さ」を発揮する場が増えそうです。

■御蔵地区3大イベント■

・御蔵地区合同慰霊法要(1月) 7回忌である2001年は、全国曹洞宗青年会の僧侶約80名が来てくださり、また住民のみなさんによるポップコーンやうどんなどの出店も行い、盛大なものになりました。

・夏祭り(8月) 河内音頭のみなさんにボランティアで来ていただき、生演奏で踊りました。昨年は400人ほどの参加があり、いつもと違いにぎやかな夜になりました。

・もちつき(12月) 朝来郡生野町の方からもち米をいただき、御蔵の住民が集まって、にぎやかにやっています。生野からも当日、何人かの方が来て、一緒にもちつきをしてくださいました。

Project Member

吉田・藤川・宮定・植田・加藤

まち・コミ 「データライブラリー」 の構築

'95年夏から6年間、活動する中で蓄積された資料は多大に量になっています。日々の活動に追われて蓄積するばかりになっていた資料に再び息吹を与えるべく始動しました。震災の記録、復興まちづくりの記録、グループの活動記録を整理・活用していきます。

早稲田大学の浦野研究室では、'97年から、文学部のHPの中で、阪神・淡路大震災を始めとする過去の災害や地域防災活動に関する一連の研究成果を「災害への社会学的研究への招待」というホームページとして公開しています。まち・コミは浦野研究室、そして専修大学大矢根研究室のデータベースの立ち上げに関わっていきます。

※まち・コミの設立は'96年4月ですが、実質的活動は'95年夏から行っていました。

■今年度目標■

- ・早稲田大学浦野研究室、専修大学大矢根研修室、データベースの立ち上げ
- ・御蔵学校ブックレット作成
- ・定期的にまちづくり情報を発信(メールマガジン利用)

Project Member

吉田・金原・小野(美織)・植田
木村・菅・下村〔危機管理研究所〕



講座・セミナー

今までの講座を活かし、地域のことを深くみ、発見し、学ぶ。そんな講座「まちから始めるカリキュラム」を企画しています。自分の身の丈で、体力をつけ、生活できる力を養います。早稲田大学危機管理研究所「まち発見講座」とも連携して内容共に充実していきます。

そして「御蔵学校」などの講座も続けていきます。日程が決まりしだい「月刊まち・コミ」で御案内させていただきますので、ぜひお越しください。

■メニュー■

- ・御蔵学校
- ・まちづくり人講座
- ・ひまサロン
- ・都市基盤整備公団勉強会事務
- ・各団体にあわせたセミナーの企画
- ・まちから始めるカリキュラム

Project Member

木村・宮定・藤川

交流

これまでまち・コミは、御蔵住民とともに、ほかの地域に視察に行ったり、ほかの地域からの見学を受け入れたりして、多くの方々と交流してきました。御蔵とは環境のちがう地域、いろんな立場の方々と出会うことが、御蔵やまち・コミの活動を見つめ直すいい機会になっています。台湾の被災地訪問も、'00年、'01年と2年連続で行っています。

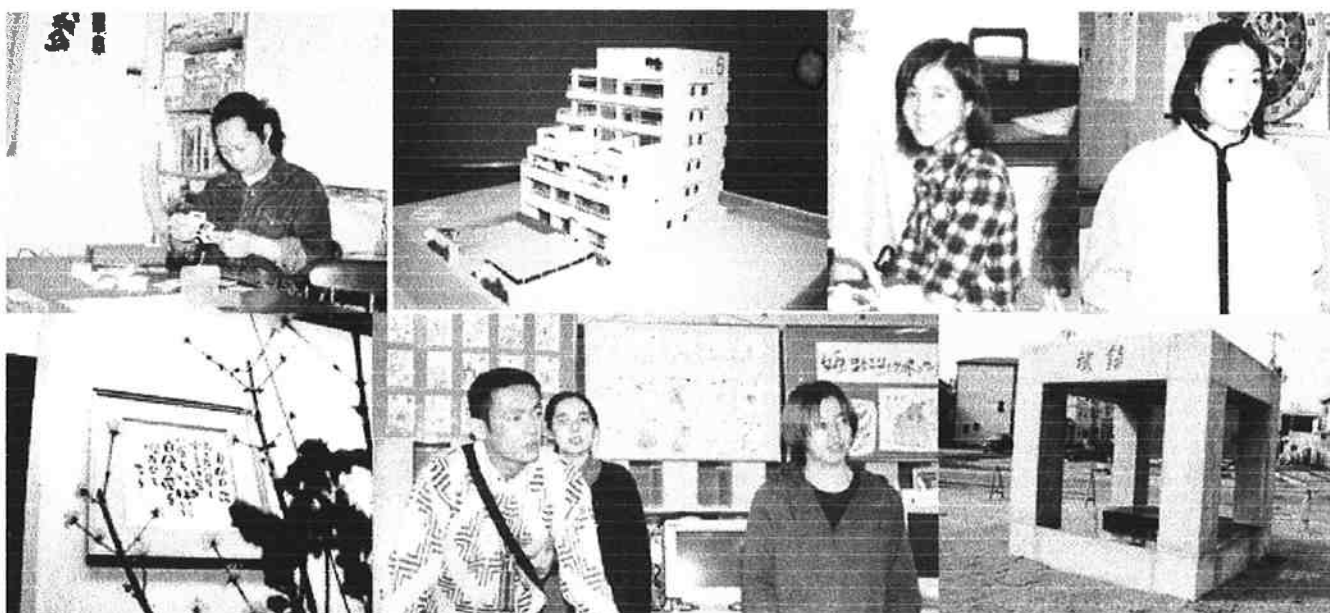
今後は、交流のみにとどまらず、ほかの地域の団体と協力して新しい活動を行ったり、御蔵を見学したい方に対する被災地ツアーのコーディネートなども考えています。

■まち・コミとつながりがある地域■

台湾中寮郷、熊本県天草郡松島町、兵庫県朝来郡生野町、東京都大久保、高知県高知市まちづくり未来塾、大阪府立豊中第五中学校、須磨区西須磨地区、長田区真野地区、長田南小学校、須佐野中学校、兵庫県東灘区琵琶町、兵庫県佐用郡3町、福田中学校、神の谷小学校、王塚台中学校、東京都世田谷区、東京都墨田区、おきかむろ、京都府網野町、大阪市大正区 など

Project Member

西山・加藤



WEBまち・コミ

Project Member

金原・三澤

更新しないまま、月日が過ぎてしまったWEBまち・コミですが、今年度はご期待ください。まち・コミならではの情報を提供するため、もう動き始めています。

御蔵学校やまちづくり人講座など、多くの先生方にお話しいただきました。今後は、講座に参加できなかった方にも内容をわかっていただけのように、ご報告いたします。

「小野幸一郎まち・コミ6年間（担当・三澤）」は、単なる小野個人のヒストリーではなく、そのときどきの社会情勢などをからめ、小野まち・コミの活動の歴史的、社会的必要性のようなものもふまえた形になる予定です。

■コンテンツ（予定）■

- ・まち・コミ、御蔵紹介
- ・勉強会、イベント案内(まち・コミ主催以外も含む)
- ・勉強会、視察、イベント報告(同上)
- ・三澤インタビュー「小野幸一郎まち・コミ6年間」
- ・GIS(本誌P4参照)
- ・「月刊まち・コミ」を含めた各種資料、データベース ほか

月刊まち・コミ

4月号からリニューアルし、催しのご案内、各プロジェクトの報告、「月刊まち・コミ」独自の調査、報告、インタビューを掲載します。また今年度は、まち・コミ運営委員の田中貢氏が行っている「公団まちづくり研究会」の報告を、委託というかたちで毎号させていただきます。

Project Member

戸田・三澤・金原

「今後も行動するまち・コミであれ」

まち・コミも五年を経過して、当初の中心人物であった小野幸一郎君、浅野幸子さん共に去ってしまった。そして宮定君を先頭に、若い新しい人達が集団指導体制で運営していくことに決まった。小野君は口も八丁手も八丁だったから一寸やり難いかもしれないが、独自のものを出したらいい。

避難所から仮設に目が向いていた震災の年の初秋に、誰ともなく“目はまちにも向けんとダメだ”“区画整理を勉強せな住民が泣くで”と三人で話していた。まち協の書記役として役員会に出席。難しい区画整理用語の解説人として、数度に亘るワークショップの仕掛人、共同住宅の事務局、色んなイベントの企画実行人として立ち回って来た。メインの御蔵学校はこの三月で第八回を数えた。錚々たる先生方を講師に招いて震災を分析し、経験から何を学ぶのか。そして真理は現実であり現場にあるたとえ通り現場に密着し、未来のまちのあり方を模索している。

こうも景気が悪いとつい“地震さえなかったら”と考えたくなる。それを打ち払って“地震があったからこそ”と考える。今迄の物欲・拝金主義を脱皮し得たし、多くの震友も出来、人生の窓口も増えた。積極的に前向きに生きよう。せつかく生かされた命である。勇気を出そう。他人のために汗を流そう。損の出来る人になろう。

21Cは科学技術が益々進歩する反面倫理が遅れ、さらに人の暖か味が感じにくい状況におかれ、人と人のかかわり合いが切望される時代となろう。身体を運んで人に会い、握手で手と手を触れ合い、目と目を見合って言葉を掛け合う人間関係の大切さを再認識したい。まちに出掛けよう。そして人の話を聞こう。まち・コミは去年、今年と二度に亘って地域の人達と一緒に台湾の被災地、村人と交流し信頼関係を築いた。若い人達の積極的な取り組み、行動力、解決していく力はまちの人達に夢と勇気を与え続けている。

(株)兵庫商会 田中 保三

2000年度のまち・コミを支えてくださった、賛助会員のみなさま

◆4月 今田忠(大阪府) 鈴木和博(新潟県) 佐藤滋(東京都) 竹内敏夫(兵庫県) 清水亮(甲府市) 森長組(兵庫県) 北後明彦(兵庫県) 鷲尾圭司(兵庫県) 武山ゆかり(東京都) 永代素宏(兵庫県) 北野泰成(兵庫県) ㈱日本精機(大阪府) 山口一史(兵庫県) 中田作成(兵庫県) 松倉ミユキ(兵庫県) ◆5月 松井洋治(静岡県) 遠藤勝裕(埼玉県) 大竹茂(山梨県) 豊根三恵子(兵庫県) 山田歯科医院(東京都) 渡戸一郎(東京都) 大津俊雄(兵庫県) 熊坂ひろ子(東京都) 辻勝次(京都府) 田中貴志(兵庫県) 似田貝香門(東京都) 松村孝雄(兵庫県) 中江研(大阪府) 岸村浩次(大阪府) ㈱バル街づくり研究所(東京都) 上田耕蔵(兵庫県) 早坂文明(宮城県) 清水威寿(兵庫県) 齋田哲平(広島県) 西沢明文(東京都) ㈱コー・プラン(兵庫県) ㈱日本特殊陶業(大阪府) 吉田節子(兵庫県) 藤原光栄事務所(兵庫県) (有)人イエまちネットワーク(東京都) 笹岡賢司(静岡県) ㈱計画技術研究所(東京都) 毎日新聞神戸支局(兵庫県) 大谷成章(兵庫県) 白政宏通(大阪府) 荒木正昭(熊本県) 丹下邦子(兵庫県) ㈱巴商会(兵庫県) 平戸潤也(東京都) 山田清(東京都) ◆6月 小林るみ子(兵庫県) 山下祐介(青森県) 川崎茂(大阪府) 魚住哲也(兵庫県) 原辺智子(東京都) 亨得寺(山口県) 清水一郎(東京都) あしや喜楽苑(兵庫県) 野口馨之(兵庫県) ㈱アーバン・プランニング研究所(大阪府) 浜岡歳生(山口県) 中島香織(埼玉県) 浅野宏(神奈川県) 石東直子(兵庫県) 横田尚俊(山口県) 下村恭広(東京都) 荒木千晴(京都府) ◆7月 玉野和志(東京都) 村上美奈子(東京都) 菅磨志保(東京都) 青池憲司(千葉県) 船橋晴俊(神奈川県) 大石由美子(兵庫県) 角谷陽子(大阪府) 伊勢直子(兵庫県) 吉川仁(東京都) 嶋原徹(北海道) 矢部文俊(長崎県) 西榮一(兵庫県) ◆8月 野口馨之(兵庫県) 人口方(兵庫県) 白岩明子(大阪府) 中田実(愛知県) 麻生克郎(兵庫県) 豊根三恵子(兵庫県) 松原永季(兵庫県) 佐藤寿一(東京都) 牛尾昭(兵庫県) 櫻井朝教(長野県) 茅野俊幸(長野県) 伊藤勝(神奈川県) 高見沢邦郎(東京都) 室崎益輝(兵庫県) ㈱防災&情報研究所(東京都) 今野裕昭(栃木県) 日暮峰子(神奈川県) 山木檀(兵庫県) 高橋秀典(兵庫県) 麻生克郎(兵庫県) 井上正彦(兵庫県) ◆9月 阿部至宏(滋賀県) ㈱日野モーターズ(兵庫県) 田中良平(兵庫県) 宮城保(沖縄県) 清水光久(兵庫県) 澤田修一郎(京都府) 国広昇(兵庫県) 安藤元夫(大阪府) ◆10月 三田啓一(東京都) 中村大蔵(兵庫県) 津田四郎(兵庫県) 宗生寺進行千尋(福岡県) 四本仁子(千葉県) 前田裕資(京都府) 野崎隆一(兵庫県) 筒井耕二(兵庫県) 清水光久(兵庫県) 岡本規也(兵庫県) ◆11月 濱端俊(兵庫県) 増田友厚(長野県) ㈱山田工務店(兵庫県) 法泉寺甲斐史郎(宮崎県) 武田則明(兵庫県) 大西ゆき子事務所(東京都) 西堀喜久夫(福岡県) ◆12月 北島繁昭(東京都) 合田純一(東京都) ◆1月 有馬嗣朗(山口県) 酒井和子(兵庫県) 馬場裕子(東京都) 森謙二(千葉県) 中山誠(東京都) 小林正(東京都) 桜井朝教(長野県) 高見沢邦郎(東京都) 長沼昭太郎(兵庫県) 文貞実(岐阜県) 澤田ヨシエ(宮崎県) ◆2月 ㈱瀬戸本淳建築研究室(兵庫県) 細野良三(東京都) 蜂須香里(埼玉県) 藤田邦昭(兵庫県) 早坂文明(宮城県) 平和稔史(東京都) 新川泰道(秋田県) 田村文枝(千葉県) 笹岡賢司(静岡県) 高森一徳(兵庫県) ◆3月 北後明彦(兵庫県) 乾亨(京都府) 長谷川明(兵庫県) 安藤美由紀(神奈川県) 賀来景英(東京都) 角田雅紀(大阪府) 三浦信英(山形県)

◆協力 (社)シャンティ国際ボランティア会(東京都) 曹洞宗 ㈱兵庫商会(神戸市) 【順不同】

2001年3月31日現在、賛助会員は約150名。本当にありがとうございます。みなさんの期待に応えられるよう、スタッフ一同がんばっていきます。これからもよろしく願いいたします。

新規賛助会員募集 & 更新のお願い

まち・コミでは、さらに活発に活動を行うため、賛助会員を募集し金銭面で支援していただいています。まち・コミを運営していくにあたって、最低限必要な費用を助成金だけでまかなうには、限界があります。賛助会員のみなさまには、会員特典をご用意しておりますので、ぜひ賛助会員への登録をお願いいたします。

また、賛助会員は1年更新とさせていただきますので、現在賛助会員の方も時期がきましたら、更新をお願いいたします。

賛助会員になると…

- ◆本誌「月刊まち・コミ」が送付されます。
- ◆まちづくりについての自由闊達な情報交換・意見交換の場(メーリングリストなど)に参加できます。
- ◆まち・コミ関連の催しへの参加料が割引されます。
- ◆まち・コミ関連の出版物の購入費が引き下げられます。
- ◆まちづくりなどに関する様々な相談に、まち・コミスタッフが応じます。

よろしくおねがいたします。

年会費

個人・法人 年間5000円
学生 年間3000円

郵便振替口座番号

00950-3-42788

口座名称

「まち・コミュニケーション事務局」

2001年4月1日発行

編集/発行 まち・コミュニケーション
定価 100円

御蔵事務所.....

〒653-0014

神戸市長田区御蔵通5-92-2 みくら5 プラザ5内
TEL 078-578-1100 / FAX 078-576-7961

東京事務所.....

〒162-0052

東京都新宿区戸山1-24-1
早稲田大学文学部浦野研究室内

神奈川事務所.....

〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1-1
専修大学文学部大矢根研究室内

E-MAIL m-comi@cx.airnet.ne.jp

http://www3.airnet.ne.jp/m-comi/